

コラム1 ツチとフツは違う「民族」なのか？

ツチとフツは、アフリカ中部のルワンダとブルンジに居住しています。これまで激しい“民族紛争”を繰り広げてきた両者ですが、実はツチも、フツも、言語、宗教に違いはなく、居住地も混在しています。

両者の違いは、植民地となる以前の王国で、ツチが支配者階級に多かったのに対し、フツは被支配者階級がほとんどだったこと。つまり「社会階層」です。例えるならば、江戸時代の士農工商の「武士」がツチ、「農民」がフツという構図になります。

ところが両国を 20 世紀前半に植民地支配したドイツとベルギーは、ツチとフツを別々の「人種」として扱いました。また植民地支配の道具としてツチの支配が固定化されたこと、フツが差別的待遇を受けるようになったこと、さらには欧米諸国の思惑なども絡み、両者は敵対する関係に向かったという背景があります。それ以前は、両者の間にエスニシティの意識はなかったといわれます。

ルワンダはいまも、少数派のツチが強権的に政権を掌握しており、エスニック紛争が再発する潜在的な危険をはらんでいます。しかし、「ルワンダにはエスニシティの区分はない」というのが同国の公式見解です。